

重篤な病気を持つ患者との話し合いの手引き

Serious Illness Conversation Guide (SICG)

話し合いの流れ

患者に対する話し方の例

1. 話し合いを始める

- 目的を伝える
- 将来の意思決定のための準備
- 許可を求める

「あなたが今後希望される医療やケアを提供することができるように、あなたの病気が今後どうなっていくかをお伝えし、あなたにとってどんなことが重要かを前もってお聞きしておきたいと思うのですが、よろしいでしょうか？」

2. 患者の理解と意向を確認する

「ご自分の病状についてどのように理解されていますか？」
「今後、病気がどうなっていくかについて、どの程度お知りになりたいですか？」

3. 今後の見通しを共有する

- 今後の見通しを共有する
- 「…だとよいのですが、…を心配しています」「…を願っていますが、…を心配しています」などの表現を使う
- 間を置きながら話し、感情を探る

「あなたの病状について、私が理解している範囲でお伝えしたいと思います…」
不確実性：「あなたの病気が今後どのように進行するか予測する事は難しいと思います。できるだけ長く、病気が進行せずに元気で過ごしていただきたいと思っています。同時に、病状が急に悪くなる可能性もあり、そのことを(とても)心配しています。そのもしもの時に備えておくことが大事だと思うのです。」
または、
時間的予後：「とても残念なのですが、残された時間が、(例：日単位～週単位、週単位～月単位、月単位～年単位の期間で示す)くらいになってきている可能性があることを心配しています。」
または、
機能的予後：「申し上げにくいのですが、あなたが感じているより事態は差し迫っているのではないかと思います。そして、今後、もう少し難しい状況になる可能性があることを心配しています。」

4. 大切な事について聴く

- 目標
- 恐れや不安
- 支えとなるもの
- 欠かせない能力
- 延命治療の範囲(トレード・オフ)
- 家族の認識

「万が一病状が更に進んだ場合のことを考えたいと思います。病状が進んだ場合、どんなことが一番大切ですか？」
「今後の病状に関して、一番怖いなど思っていることは何ですか？どんなことが心配ですか？」
「これから病状と付き合っていく上で、どのようなことがあなたの支えになると思われますか？」
「あなたにとってとても大切で、これができないまま生きていくのは考えられない、と思うのはどんなことですか？」
(例：口から食べられること、身の周りのことが自分でできること、家族とコミュニケーションが取れること、など)
「病状が更に進んだ場合、余命を伸ばすためならどの程度(の治療)であれば、たとえつらくてもやっていきたいと思いませんか？」
「ご家族は、あなたのご希望や大切にしたいことについてどのくらいご存じですか？」

5. 話し合いを締めくくる

- 要約する
- 推奨事項を説明する
- 患者に確認する
- 患者に協力することを伝える

「あなたにとって__がとても大切だとおっしゃいましたね。それを考慮に入れると、現在の病状では__をお勧めします。こうすれば、あなたが大切にしたい事を今後の治療やケアの方針に反映できると思います。」
「この方針をどう思われますか？」
「あなたの力になれるように、私も全力でお手伝いいたします。」

6. 話し合いの内容を記録する

7. 主治医や他の専門職に伝える

This Japanese version Serious Illness Conversation Guide has been translated by
Yoshiyuki KIZAWA MD, PhD, FJSM, DSBPM, Designated Professor and Chair, Department of Palliative Medicine, Kobe University School of Medicine
President, Japanese Society for Palliative Medicine
Savaka Takenouchi, RN, PhD, MPH Program-Specific Senior Lecture Kyoto University Graduate School of Medicine Office of Medical Ethics Committee

Set Up
準備

Assess
確認

Share
共有

Explore
探索

Close
締め切り

医療現場でのコミュニケーションスキルとして 有用なプロトコール（手順）の例

- がん医療におけるコミュニケーションとして開発されたもの
- **SPIKES**：悪い知らせを伝える部分のスキル
- **NURSE**：感情に対応するスキル
 - 常に有用だが、すぐに安心させるためのものではない。
- **REMAP**：治療のゴールを決定するためのスキル
 - 文字通り、ギアを変え新しい地図を開く話し合い



SPIKES 悪い知らせを伝える場合の面談ロードマップ

ステップ	例・ポイント
SET UP 会話に備える	<ul style="list-style-type: none">・話し合いに必要なものがすべてそろっているか確認する。 今日の話し合いに必要な情報/参加すべき人々/プライバシーの保たれる場所
PERCEPTION 患者の理解を把握する	「あなたの病気について、今まで他の医師からどのようなことを聞きましたか？」
INVITATION 本題に入る前に 患者の許可を得る	「これから前回の検査の結果をお話してもよろしいですか？」 <ul style="list-style-type: none">・話し合いの流れを作る権限を患者に与える。
KNOWLEDGE 簡単にわかりやすく伝える	「肺癌が悪くなっていることがわかりました。もうこれ以上抗がん剤の治療は続けられません。」 <ul style="list-style-type: none">・患者に理解してほしい最も重要な情報を短くわかりやすく話し、その意味を伝える。(Headline)・専門用語は避ける。・Headline を伝えたら、次の情報を話す前に一度話すのをやめる。
EMOTION 患者の感情に対応する	「こんな話を聞いてつらいですね。」 <ul style="list-style-type: none">・患者の最初の反応は、感情であると心積もりをしておく。・感情をはっきりと認識する。・NURSE(感情に対応するスキル)を使う
SUMMARIZE 話し合った内容や今後の方針をまとめる	「これからどうするかに関してお話してもよろしいですか？」 <ul style="list-style-type: none">・患者の心配していることを否定したり、「すべて大丈夫ですよ」と言ったりしない。

NURSE

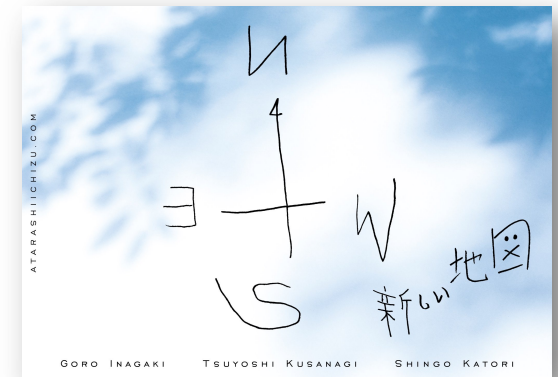
感情に対応するスキル

ステップ	例・ポイント	
NAME 感情を言葉で示す	「こんな話を聞いて驚かれましたよね。」	一般的に、 情を言葉で示すこと によって、患者さんの緊張感を和らげる。
UNDERSTAND 理解を示す	「想像することも出来ないほど大変なのでしょうね。」	すべてを理解しているような言い方は避ける（実際、理解していないから）
RESPECT 敬意を示す	「大変な治療を頑張って続けてこられましたよね。」	称賛すること もここに入る。
SUPPORT 支持を示す	「医師として出来る限りのことをします。」	このような言葉は、患者にとって大きな支えになります。
EXPLORE さらに掘り下げて聴く	「もう少し詳しく話してもらえますか?」	本人の言った言葉について尋ねることで、その言葉の裏に隠れている本人の真意を探る。

REMAP: 治療のゴールを決定するためのスキル

- REMAP: 治療のゴールを決定するためのスキル
 - 文字通り、ギアを変え新しい地図を開く話し合い

REMAP	Physician Statement
Reframe	"I'm seeing that you are in a different place now. Further treatments may be too hard on you."
Emotion	"What worries you most about this?" "This is hard to talk about." "Is it OK to talk about what this means for the future?"
Map	"What's most important to you given that time is limited?" "As you look toward the future, what concerns you?"
Align	"As I listen to you, it sounds like the most important things to you are [x-y-z]."
Propose a Plan	"Given what you've told me, here's what I can do now to help you do those important things. What do you think?"



REMAP

治療ゴール決定のロードマップ

ステップ	例・ポイント
REFRAME 状況の変化を伝える	「お話ししなければいけないことがあります。」 「状態が変わってしまいました。」 「これ以上治療を続けることは危険かもしれません。」
EXPECT EMOTION 感情に対応する	「本当にお母さまのことを大事に思われているんですね。」 NURSE(感情に対応するスキル)を使う
MAP OUT 重要な価値観を掘り下げる	「今後の治療の話をしてもいいですか?」 「今お話したことを聞いて... ...一番気がかりなことは何ですか?」 ...今後のケアに関して、一番大切なことは何ですか?」 「他にはありませんか?」 家族に話している場合 「もしお父さんがこの話を聞いてご自身の状況を理解したら、 なんて言うと思いますか?」
ALIGN (照準を定める) 価値観に基づいた治療ゴールの設定	「今お話を伺っていて...」 「とにかく痛みをコントロールして、出来るだけ苦しまないようにすることが、一番大切なんですね。」 患者の価値観を反映する
PLAN 具体的な治療計画をたてる	「人工呼吸器は使わずに、苦痛を取り除く治療に集中しましょう」